

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度第 1 回秀峰筑波義務教育学校 コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 8 年(2026 年) 6 月 9 日 (火) 開会 15:00 閉会 16:30		
開催場所		つくば市立秀峰筑波義務教育学校会議室		
事務局 (担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	土子 光之 山口 里香 飯村 仁 白石 通 矢口 義勝 古平 恒雄 大里 庄受 松島 寿樹 矢島 祐介 遠藤 知昭 校長 大久保 悦郎 副校長 木村 晃 教頭 佐藤 尚子 宮内 周也 教務主任 依田 振 佐々木 美由紀		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課 参事：山口 健次 課長補佐：瓜阪 恵理名 係長：松橋 千栄 社会教育主事：柴崎 英二 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由				
議題		「学校と地域のさらなる連携・協力～昨年度の反省を振り返って～」		
会議録署名人		確定年月日	令和 年 月 日	
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 挨拶 4 説明・報告事項 ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について ・令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について 5 会長・副会長の選出 6 協議 (1) 学校運営の基本方針について ① 学校グランドデザイン			

	② 教育活動について (2) 熟議 「学校と地域のさらなる連携・協力～昨年度の反省を振り返って」 (3) その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について ・諸連絡等
7	閉会

<審議内容> 1 開会 本日の会議は公開となる。市のHPでも公開となる。 2 任命書交付 非常勤特別職、任期は1年間、守秘義務あり 3 挨拶 ①大久保委員 ②木村委員 ③佐藤委員 ④宮内委員 ⑤依田委員 ⑥佐々木委員 ⑦遠藤委員 ⑧矢島委員 ⑨松島委員 ⑩大里委員 ⑪古平委員 ⑫矢口委員 ⑬白石委員 ⑭飯村委員 ⑮山口委員 ⑯土子委員 4 説明・報告事項 (1) 令和8年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について ・つくば市が目指す、コミュニティ・スクール（以下CS）の完成形は「つながりが感じられる、笑顔あふれる地域と学校」。 ・市が大切にしている「地域と学校で子供の学びと育ちを支える」「大人がつながる」「静かに、長く、温かく」を意識する。 ・委員の主体的な会議運営、教職員へのCS会議の周知⇒学校の困り感を出し、地域と連携をしていく。CSコーディネーターを教職員へ周知する。 ・評価ガイドラインの確認してほしい。 ・昨年度は写真撮影禁止、今年度から写真撮影可能 ⇒SNSなどで地域に周知してもらうため（ただし、個人への配慮はする）。 ・地域と学校の橋渡し役となるCSコーディネーターは「矢島委員」と「松島委員」の2名である。 (2) 令和7年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和8年度地域と学校の連携事業予算計画について ・令和8年度の地域と学校の連携事業の義務教育学校の予算は75万円。 昨年度の決算報告として防災イベント（防災カレー、ベスト、防災袋	
--	--

等)を行った。今年度はカレーは見送り。その代替えとしてイベント関係のバス代に充てる。

5 会長・副会長の選出

委員の互選により決定 → 立候補なし

事務局の提案により会長に小平委員、副会長に土子委員→承認

6 協議

(1)学校運営の基本方針について

①グランドデザイン

大久保委員： 県と市の教育目標を基に、自分で人生の舵取りができる子供を育成したい。開校から「自主（自分で進んでいく）・友愛（人を大切にする）・共創（人と人がつながってつくっていく）」が柱である。旧筑波町のこの地区から日本、世界を担っていく人材を育成する。

組織目標、「楽しい学び」⇒教職員の授業のデザイン、つくスタの充実、「楽しい生活」⇒児童生徒が活躍する場を1つでも多く作っていく。「豊かなつながり」⇒1～9年のつながり（縦のつながり）、保護者・地域とのつながり。

基盤となる学校の安心安全を支えているのは教職員⇒生き生きと先生が働く環境の整備していく。

心理的安全性の高い教職員チーム、働く時間を減らす（月2回の定時退校日）、校務のDX化、今を大事に9年間をつなげる。その中で「おはよう」「ありがとう」「大丈夫？」を大切にすること子供を育てたい。

②教育活動について

佐々木委員：前期課程 574 人・後期課程 337 人の計 911 人。通常学級 28 学級＋特別支援学級 15 学級の計 43 学級。教職員 71 名、支援員等を含めると 110 名、550 名の児童生徒がバス 20 台で通っている 4 月始業式・入学式、5 月体育祭、6 月運動会

(質疑)

松島委員：グランドデザインをどう具現化していくか。先生方大変さや苦労は分かるが、何となくしか見えない。どう課題をクリしていくか。何を手伝えるのか、何を手伝ってほしいのかを明確にして、学校に貢献していきたい。

⇒大久保委員：10 年間で整備されてきている。今以上に先生方が元気に自信を持って子供の前に立てるようにしたい。そこを地域の方にお手伝いをいただきたい。また、地域とどうつながっていけるかを考えていきたい。

松島委員：保護者と先生方が互いの心を開いて関わりたい。お互いに名前と顔を一致させて、連携して子供の育成に当たりたい。

古平会長：グランドデザインに承認いただける方は拍手を。 → 承認

(2) 熟議

「学校と地域のさらなる連携・協力～昨年度の活動を振り返って」

☆木村委員班

- ・学校に協力したいが、何をしたらいいか分からない。
- ・卒業したら保護者も地域の一人となり学区から離れる。そうすると、さらに学校の情報が入ってこないため、学校から更なる情報発信をしてほしい。

☆佐々木委員班

- ・昨年の防災イベントは生き生きと活動していた。後期課程は運営に、前期課程は体験に一生懸命であった。
- ・イベントとしては良かった。
- ・地域との連携としては規模が大きすぎた。
- ・防災イベントを小学校地区でやると、更に連携が深まる。

☆宮内委員班

- ・社協が主催であったが、地域と連携して実施したが負担が大きかった。今後は双方の思いのすり合わせが必要である。
- ・学校側や生徒が受け身の部分もあった。なぜやるのか目的を明確にして実施すると良い。また、地域ごとの防災の目的の違いも考えることが大事ではないか。
- ・親世代は学校が閉校しているため、秀峰に進んで行こうとは思わない。
- ・地域の団体を知り、その団体と連携していく。マルシェなど防災以外の関りも必要ではないか。

矢島委員：学校が区会などと連携して、地域団体を調べてほしい。

白石委員：子供と関われる地域資源がどれだけあるか、マッピングしてみるとよい。そして、そこをどうやって有効活用していくか。

大久保委員：C Sの皆様のお力をお借りしたい。皆様の知り得る地域資源を教えてください。

松島委員：学校からの情報を得るチャンネルには何があるのか。

矢島委員：昨年度はC Sのスクリレがあった。

松島委員：オープンチャットを作成しているので、利用していただければ情報が伝わりやすい。

矢島委員：地域資源は地域の会社なども入るとよい。

大久保委員：地域学習にもつながるので、ぜひ、まとめていきたい。

飯村委員：まとめていく方向で進めていいのではないかと。学校ではなくてC Sメンバーがオープンチャットを上手に使って進めていければよい。

柴崎社会教育主事：連絡手段として Teams の活用を勧めている。準備ができたら学校を通してお知らせする。

(3) その他

- ・ 諸連絡

柴崎社会教育主事：昨年度のアンケート結果を見て、今年度の運営を進めてほしい。

- ・ 今後の予定

- ・ 第2回 10月2日（金）13：30～

- ・ 第3回 令和9年2月19日（金）15：00～

7 閉会

令和 8 年度第 1 回秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会

日時：令和 8 年 6 月 9 日（火） 15：00～

場所：秀峰筑波義務教育学校 会議室

次 第

1 開会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明・報告事項

- ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

①学校グランドデザイン

②教育活動について

(2) 熟議 テーマ

「学校と地域のさらなる連携・協力～昨年度の活動を振り返って～」

(3) その他

- ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
- ・諸連絡等

7 閉 会



秀峰筑波義務教育学校GD



県教育目標

ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
 じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
 郷土を愛し 協力しあう心を育てる
 すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり

市教育大綱

一人ひとりが幸せな人生を送ること

- ①「教え」から「学び」へ 一斉・一方向教育から個別・双方向の学びへ
- ②「管理」から「自己決定」へ 受動から能動へ
- ③「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ知識偏重の教育から全人教育へ

秀峰筑波教育目標

【学校教育目標】自主・友愛・協創の精神にあふれた人材の育成

【めざす児童生徒のすがた】高い志と広い視野をもち、郷土の未来を拓く活力ある児童生徒

9年間をとおした秀峰筑波の児童生徒の姿

「協働」

- 自ら考え、判断し、主体的に学ぶ
- 思いやりをもち、友達と互いに助け合うことができる
- クラスをよりよくするため力を合わせて活動する

「考働」

- 自分の考えをもち、進んで学び、高め合う
- 集団の一員としての自覚をもち、認め合い、高め合うことができる
- 目標に向かって努力し、みんなのためにできることを実行する

「創働」

- よりよい自分を目指し粘り強く学びに向かう
- 望ましい人間関係を自分たちで作り上げる
- 仲間と協力し合いながら自分の人生を切り拓いていこうとする

幼保連携(筑波会)

義務教育前期課程

義務教育後期課程

それぞれの道で
幸せな時間を創る

2026秀峰筑波 組織目標

「学び・生活・つながり」を充実させ、よさを認め可能性を広げる

「楽しい学び」の創出

- ・学びのデザイン研修
- ・特別支援教育の充実
- ・つくばスタイル科の充実
- ・道徳の充実
- ・校内外・自主研修の積極的展開

「楽しい生活」の創出

- ・人権教育の充実
- ・特別活動の充実
(活躍の場、体験活動の創出)
- ・フリートークの展開

「豊かなつながり」の創出

- ・異学年クラスター活動
- ・SSTの活用
- ・CS、地域連携
- ・筑波会(幼保小連携)
- ・部活動地域展開

たいせつにしたいことば

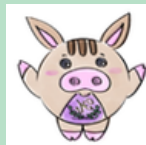
おはよう ・ ありがとう ・ だいじょうぶ?

<児童生徒の充実した学びのために>

- ◎月2回定時退校日の実施
- ◎校務DXによる業務の効率化
- ◎心理的安全性の高い職場雰囲気醸成
- ◎助け合える人間関係作りの構築

<みんなで大切にしていきたいこと>

- ◎学び続けること
- ◎熱心であること
- ◎互いを思いやれること
- ◎心身のコントロールができること
- ◎情報を共有し、自分事としてとらえること



今を大事に

一人ひとりが かがやく 秀峰筑波を創る

